

Teacher(s)	高見 藍	Subject group and discipline	Visual Arts	Program	MYP3
Unit title	Catch the Motion	MOIS Year	1st	Unit duration (hrs)	6 Term (12hrs)

INQUIRY: Establishing the purpose of the inquiry

Learner Profile ・ 学習者像		
Risk Taker 挑戦する人		
私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考え方や方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。		
Key concept ・ 重要概念	Related concept(s) ・ 関連概念	Global context ・ グローバルな文脈
美しさ	構成 ・ 受け手	個人的表現と文化的表現
Statement of inquiry ・ 探究のテーマ		
他者の共感を生みつつ、調和のとれた形による構成の美しさが、人と社会に効果的に働く。		
ROK ・ TOK Connections	Knowledge Questions ・ 知識に関する問い	
Term 6 批評会で、議論的問いを深める目的でこの問いを活用する。3～4人のグループでディスカッションさせる。	どの芸術に価値があるかは、誰によって、どのような規準で決められるのか。 <u>本 Unit に合わせた知識に関する問い</u> あなたの作品の美しさは誰によって、どのような基準で決められるのか。	
Inquiry questions 情報収集・分析・選択や判断・表出（代表的な問い）		
Factual ・ 事実的問: 抽象芸術とは何か。具象芸術と比べてどのような特徴があるのか。		

Conceptual・概念的問: 「美しさ」の条件には何が必要か。絶滅危惧動物の美しい形とはどのようなところに見出せるのか。

Debatable 議論的問: 絶滅危惧種動の美しさを表現することは世界をよりよくすることに繋がるのか。

Objectives・目標	Summative assessment・総括評価課題	
<p>抽象芸術の特徴と木工技法を学びながら、絶滅危惧植物の動きを表す作品を制作し発表する。</p> <p>【Ai】 作品制作に生かせる抽象彫刻表現についての知識をリサーチシートにまとめる。</p> <p>【Ci】 絶滅危惧種動物から感じ取った美しさを抽象彫刻作品で表す。</p>	<p>GRASPS Statement</p> <p>あなたは彫刻家として、絶滅危惧種の動物の“動き”を、木材を用いた抽象表現で作品化する。スピード感や動作の特徴、木材の特性などから形の構成を工夫して、今後も保護していくべき動物たちの生き生きとした美しい姿が他者にも伝わるような作品を制作し、発表する。</p> <p>Goal・目的</p> <p>絶滅危惧種動物の動きから着想を得た美しい抽象彫刻作品を制作・発表する。</p> <p>Role・役割</p> <p>彫刻家として抽象彫刻作品を制作・発表する。</p> <p>Audience・相手</p> <p>他者（鑑賞者）に向けて抽象彫刻作品を制作・発表する。</p> <p>Situation・状況</p> <p>彫刻家として絶滅危惧種動物の危機的状況をアピールするための作品を制作・発表する。</p> <p>Product/performance・成果物</p> <p>他者からの共感を意識した、絶滅危惧植物の動きから着想を得た美しい抽象彫刻作品。</p> <p>Standard・スタンダード</p>	<p>Connection between the summative assessment and the statement of inquiry</p> <p>総括評価課題と探究のテーマのつながり</p> <p>他者からの共感を得られる美しさとは、人と社会にどのように影響するのか。これを探究するために、次の2点を総括評価課題として設定し、探究テーマにより深く迫れるようにする。</p> <p>①モチーフから芸術的要素を抽出して、調のとれた美しい立体作品にするために、抽象彫刻表現の調査を行う。</p> <p>②美しいと共感される形を実際に形作るには、どのような技術や芸術的視点が必要なのかを明らかにするために作品創作を行う。</p>

学習した内容を抽象彫刻作品の制作に活かす。また、Art Process Journal に作品構想やアイデアの発展を記録する。Unit 最後の批評会では、考えを他者に発表し、自作品の影響について考える。

その他の総括的評価課題について

Art Process Journal に記録されている抽象彫刻作品に関する作品構想やアイデアの発展。

Approaches to learning (ATL) ・「主体的に学習に取り組む態度」の評価とのつながり

批判的思考スキル：

多角的なものの見方に基づきアイデアを検討する。

本 Unit に合わせた A T L スキル：

【粘り強い取り組みを行おうとする側面】 絶滅危惧種動物の動きを表す形から美しい形を見つける。

【自らの学習を調整しようとする側面】 自分なりの美しい形にアレンジする。

Unit 内での A T L スキルの扱い方：

他者との協働の中で出た複数の絶滅危惧種動物の動きを表す形から、自分なりの美しい形を生み出し、理由と共に ArtProcessJournal に示す。

創造的思考スキル：

ありえないものや不可能なものも含めて、多数の代案を検討する。

本 Unit に合わせた A T L スキル：

【粘り強い取り組みを行おうとする側面】 複数の多様なアイデアを生み出す。

【自らの学習を調整しようとする側面】 複数のアイデアを検討して作品プランを作成する。

Unit 内での A T L スキルの扱い方：

Art Process Journal に絶滅危惧種動物から感じ取った抽象的イメージを多数描き出す。それらを自分の表したいことと照らし合わせて検討し、作品完成図に繋げていく過程を記録する。

ACTION: Teaching and learning through inquiry

Content Term または、小単元	Learning process		
	Learning experiences and teaching strategies ・ 学習活動と指導のアプローチ	Formative assessment ・ 形成的評価	Differentiation ・ 個別最適化
Term1: 調査	抽象表現の特徴を理解し、抽象的な形から美しい形を見出す。	机間指導を行い、各自の学習到達度に応じたアドバイスを行う。	<u>目標未達成生徒 (Ai) :</u> 課題の取組状況を確認し、本人の興味を尊重しながらルーブリックに沿ってスローステップで取り組ませる。
Term2: 調査	既存の抽象彫刻作品について調査し、自分の作品制作に生かせる知識をまとめる。		<u>目標未達成生徒 (Ai) :</u> 課題の取組状況を確認し、本人の興味を尊重しながらルーブリックに沿ってスローステップで取り組ませる。
Term3: アイデア	動画や画像などを参考にして、モチーフを表現する美しい形のアイデアを練る。 複数出したアイデアを検討し、作品完成図としてまとめる。		
Term4: 制作	作品完成図をもとに、必要な道具・材料・機械を用いて作品を制作する。	作品写真付きの振り返りスライドを提出させ、フィードバックを返す。	<u>目標未達成生徒 (Ci) :</u> 課題の取組状況と完成作品図を照らし合わせ、どのように制作していくか見通しをもた

			せる。本人の考えを尊重しながら、ルーブリックに沿ってアドバイスする。
Term5: 制作	作品完成図をもとに、必要な道具・材料・機械を用いて作品を制作し、完成させる。		<u>目標未達成生徒 (Ci) :</u> 課題の取組状況と完成作品図を照らし合わせ、どのように制作していくか見通しをもたせる。本人の考えを尊重しながら、ルーブリックに沿ってアドバイスする。
Term6: 批評会	自分の作品を発表し、他者の作品を鑑賞・批評する。自身の作品を振り返る。芸術作品の人と社会への効果について考える。		
Resources			
コンスタンティン・ブランクーシ、イサム・ノグチ、ヘンリー・ムーアの彫刻作品			

REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry

Prior to teaching the unit	During teaching	After teaching the unit
抽象芸術に関する資料を学校図書館から借りておく。木工道具や木材加工機械をデザイン科から借りておく。		